



## 「呉・大博覧会」事業 第1回「くれオンパク」の総括及び第2回の開催について

本市初開催となった「くれオンパク」※の総括及び第2回の開催に向けた現況をお知らせします。  
※地元住民や事業者が体験交流型のプログラムを短期間に集中的に市内各地で開催するイベント

### 1 総括

#### (1) 実績

- ・実施期間：令和7年1月18日（土）～3月2日（日）
- ・プログラム数：42（パートナー（プログラム提供者）数：39）
- ・参加者数：441人（定員767人に対する総集客率：57.5%）
- ・参加者の内訳：呉市内75%，広島市15%，県内7%  
年代は多い順に30代，50代，40代。この年代だけで全体の70%
- ・メディア取材：広島テレビ「テレビ派」において特集（6分間放映）  
中国新聞（3回）

#### ※事務局サポートを担った（一社）オンパク理事長 蒲勇介氏のコメント

- ・初年度での42プログラムはかなり多い。
- ・初年度としては参加者人数，総集客率とも上出来。回を重ねていけば総集客率70%まで目指せる。
- ・地域資源の掛け合わせでここまでメディアに取り上げられることに意義がある。

#### (2) 総括（成果）

中長期的に観光やまちづくりの基盤づくりに寄与するものとなりました。

##### ア 地元の人（パートナー・参加者）の呉に対する意識変容

アンケートでは「地元のことを知ることができた」という趣旨の意見が多数  
地元の魅力を伝える地元の人の増加

##### イ 新たな観光資源の発掘

これまで観光資源と思っていなかった市民の日常生活の風景や人材等が新たな  
観光資源として発掘（例：音戸の路地裏，パートナー（人材）等）

##### ウ 地域資源を活用した呉ならではの観光プロダクトの開発

オンパクをテストマーケティングの場として活用することで，プログラムを観光商  
品化（牡蠣殻アクセサリー，呉産ジビエ等）

##### エ オンパクがチャレンジを促す「苗床」に

オンパクが，市の広報・集客支援等を受け，パートナーにとって気軽にチャレンジ  
できる場に。今後，リノベーションまちづくりなど，他の既存事業への人材輩出も  
想定

### 2 第2回「くれオンパク」の開催

令和7年度についても，大和ミュージアム休館対策「呉・大博覧会」の一環として，上記成  
果の拡大を目指し，秋から冬の開催に向けて準備を進めています。